

受益者のみなさまへ

毎々、格別のお引き立てにあずかり、厚くお礼申し上げます。

さて、「フィデリティ・世界分散・ファンド(債券重視型)」と「フィデリティ・世界分散・ファンド(株式重視型)」は、第86期から第88期までの決算を行いました。当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、世界の債券、株式、不動産投資信託(リート)へ実質的に分散投資を行い、主として配当等収入を確保することを目的に運用を行い、長期的な投資信託財産の成長を目指しました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

フィデリティ・世界分散・ファンド (債券重視型／株式重視型) 愛称:3つのチカラ

追加型投信／内外／資産複合

交付運用報告書

第86期(決算日 2020年7月10日)

第87期(決算日 2020年9月10日)

第88期(決算日 2020年11月10日)

作成対象期間(2020年5月12日～2020年11月10日)

日経新聞掲載名

債券重視型:世分散債

株式重視型:世分散株

<お問合せ先>

フィデリティ投信株式会社

カスタマー・コミュニケーション部

東京都港区六本木七丁目7番7号 TRI-SEVEN ROPPONGI

 **0120-00-8051**(無料)

受付時間:営業日の午前9時～午後5時

 <https://www.fidelity.co.jp/>

お客様の口座内容などに関するご照会は、お申し込みされた販売会社にお尋ねください。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、委託会社のホームページから下記の手順で閲覧、ダウンロードできます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

<閲覧方法>

上記URLにアクセス⇒「ファンド情報」より「基準価額一覧」を選択⇒当ファンドの「運用レポート目録見書等」を選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択

第88期末
(決算日 2020年11月10日)

基準価額	(債券重視型)	(株式重視型)
	9,387円	9,157円
純資産総額	(債券重視型)	(株式重視型)
	7,127百万円	4,660百万円
第86期～第88期 (2020年5月12日～2020年11月10日)		
騰落率	(債券重視型)	(株式重視型)
	8.2%	10.3%
分配金合計	(債券重視型)	(株式重視型)
	90円	105円

(注)騰落率は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

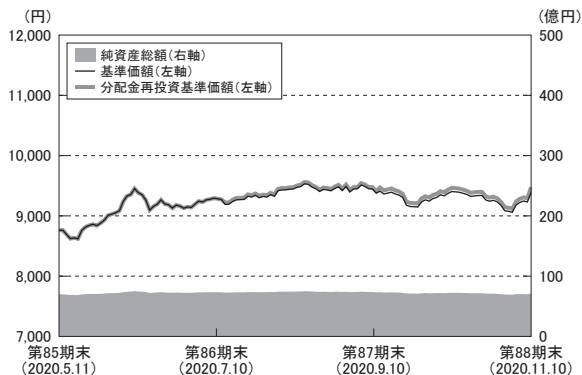
フィデリティ投信株式会社



1. 運用経過の説明

① 基準価額等の推移

(債券重視型)

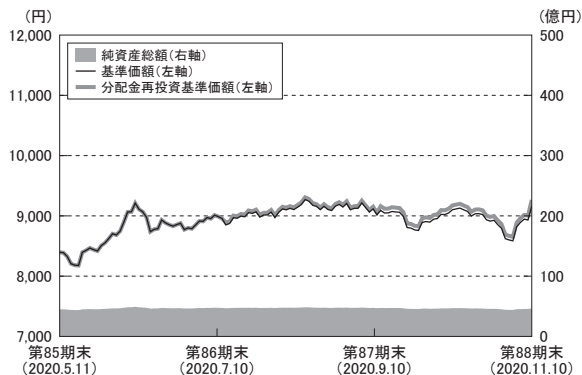


第86期首: 8,761円

第88期末: 9,387円 (既払分配金90円)

騰落率: 8.2% (分配金再投資ベース)

(株式重視型)



第86期首: 8,396円

第88期末: 9,157円 (既払分配金105円)

騰落率: 10.3% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、2020年5月11日の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

* 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

※当ファンドは、運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマーク及び参考指数は設定しておりません。

② 基準価額の主な変動要因

当期のフィデリティ・世界分散・ファンド(債券重視型)のリターンは+8.2%、フィデリティ・世界分散・ファンド(株式重視型)のリターンは+10.3%でした。

<プラス要因>

- ・世界の株式およびリートが好調だったこと
- ・エマージング債券およびハイ・イールド債券が上昇したこと
- ・円に対して英ポンド、ユーロが上昇したこと

<マイナス要因>

- ・円に対して米ドルが下落したこと

③ 1万口当たりの費用明細

(債券重視型)

項目	第86期～第88期		項目の概要
	2020年5月12日～2020年11月10日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	40円	0.430%	(a) 信託報酬 = 当作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,257円です。
(投信会社)	(9)	(0.094)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(28)	(0.303)	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの 管理及び事務手続き等の対価
(受託会社)	(3)	(0.033)	運用財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.002	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{当作成期中の売買委託手数料}}{\text{当作成期中の平均受益権口数}}$
(投資証券)	(0)	(0.002)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	0	0.004	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{当作成期中の有価証券取引税}}{\text{当作成期中の平均受益権口数}}$
(投資証券)	(0)	(0.004)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	2	0.019	(d) その他費用 = $\frac{\text{当作成期中のその他費用}}{\text{当作成期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(0)	(0.003)	保管費用は、有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等のために、海外 における保管銀行等に支払う費用。また、信託事務の諸費用等が含まれます。
(監査費用)	(0)	(0.003)	監査費用は、ファンドの監査人等に対する報酬及び費用
(その他)	(1)	(0.014)	その他には、法定書類等(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等)の作成、 印刷、提出等に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含ま れます。
合計	42	0.455	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

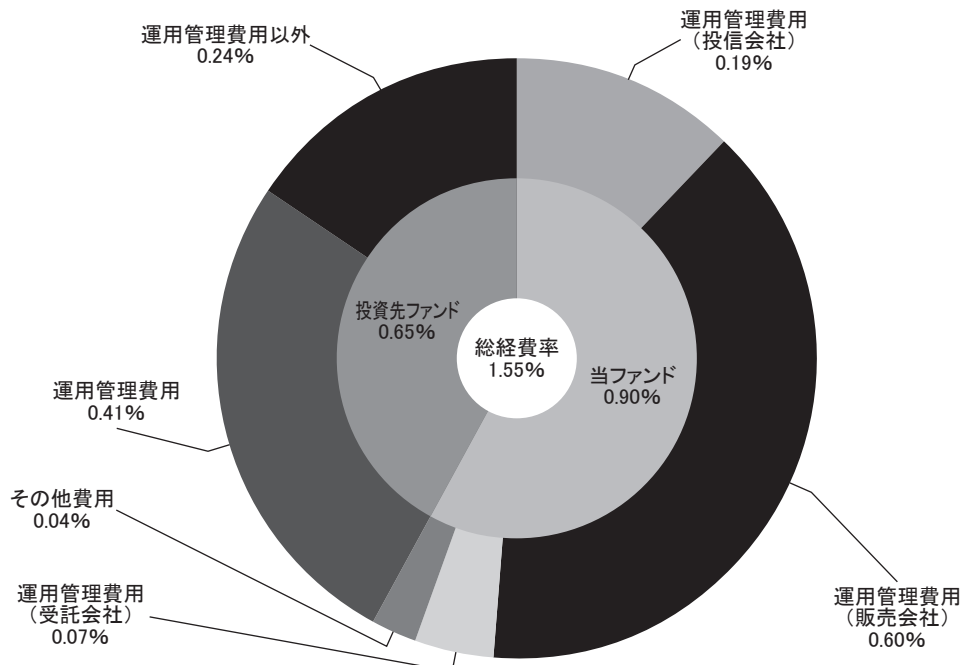
(注2) 「金額」欄は、各項目毎に円未満を四捨五入しています。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

●総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.55%です。



総経費率(①+②+③)	1.55%
①当ファンドの費用の比率	0.90%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.41%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.24%

(注1)①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2)各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3)その他費用には、保管費用、監査費用以外に法定書類等(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等)の作成、印刷、提出等に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含まれます。

(注4)各比率は、年率換算した値です。

(注5)投資先ファンドとは、当ファンドが実質的に組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)です。

(注6)①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注7)①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

(株式重視型)

項目	第86期～第88期		項目の概要
	2020年5月12日～2020年11月10日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	38円	0.430%	(a) 信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は8,928円です。
(投信会社)	(8)	(0.094)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(27)	(0.303)	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの 管理及び事務手続き等の対価
(受託会社)	(3)	(0.033)	運用財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.002	(b) 売買委託手数料＝ $\frac{\text{当作成期中の売買委託手数料}}{\text{当作成期中の平均受益権口数}}$
(投資証券)	(0)	(0.002)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	0	0.004	(c) 有価証券取引税＝ $\frac{\text{当作成期中の有価証券取引税}}{\text{当作成期中の平均受益権口数}}$
(投資証券)	(0)	(0.004)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	2	0.023	(d) その他費用＝ $\frac{\text{当作成期中のその他費用}}{\text{当作成期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(0)	(0.003)	保管費用は、有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等のために、海外 における保管銀行等に支払う費用。また、信託事務の諸費用等が含まれます。
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査費用は、ファンドの監査人等に対する報酬及び費用
(その他)	(1)	(0.016)	その他には、法定書類等(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等)の作成、 印刷、提出等に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含ま れます。
合計	41	0.458	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

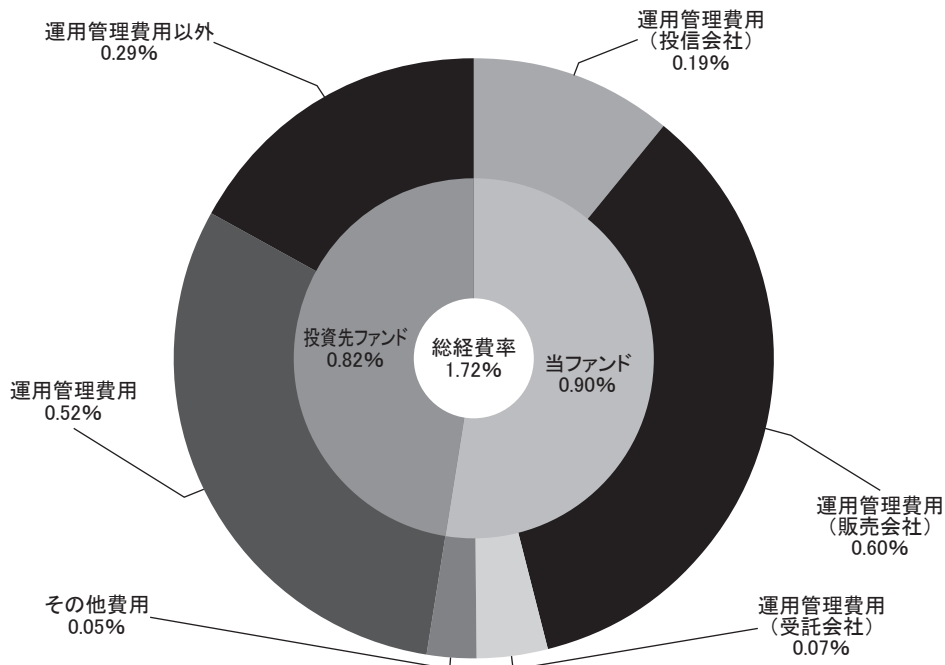
(注2) 「金額」欄は、各項目毎に円未満を四捨五入しています。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

●総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.72%です。



総経費率(①+②+③)	1.72%
①当ファンドの費用の比率	0.90%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.52%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.29%

(注1)①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2)各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3)その他費用には、保管費用、監査費用以外に法定書類等(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等)の作成、印刷、提出等に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含まれます。

(注4)各比率は、年率換算した値です。

(注5)投資先ファンドとは、当ファンドが実質的に組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)です。

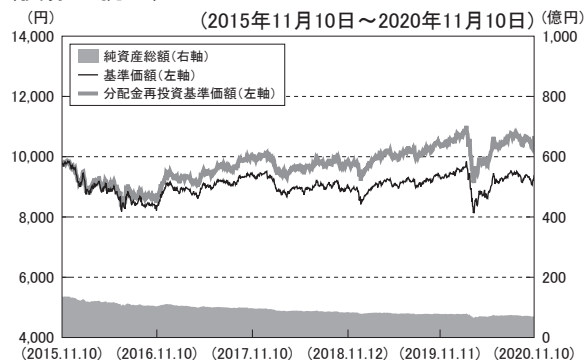
(注6)①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注7)①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

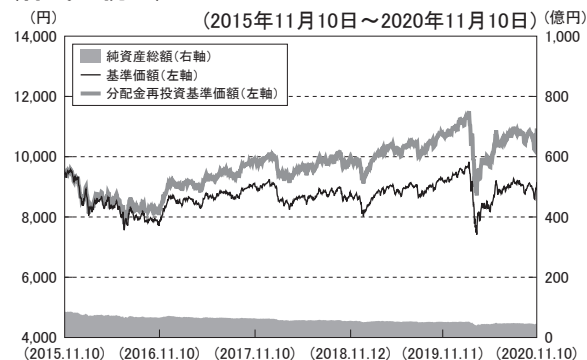
(注8)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

④最近5年間の基準価額等の推移

(債券重視型)



(株式重視型)



(債券重視型)

	2015年11月10日 期首	2016年11月10日 決算日	2017年11月10日 決算日	2018年11月12日 決算日	2019年11月11日 決算日	2020年11月10日 決算日
基準価額 (円)	9,761	8,358	9,372	8,997	9,300	9,387
期間分配金合計(税引前)(円)	—	315	240	240	190	180
分配金再投資基準価額騰落率(%)	—	△11.2	15.1	△1.4	5.6	2.9
純資産総額 (百万円)	13,626	10,402	9,672	8,396	7,795	7,127

(株式重視型)

	2015年11月10日 期首	2016年11月10日 決算日	2017年11月10日 決算日	2018年11月12日 決算日	2019年11月11日 決算日	2020年11月10日 決算日
基準価額 (円)	9,444	7,833	9,012	8,750	9,200	9,157
期間分配金合計(税引前)(円)	—	430	330	330	230	210
分配金再投資基準価額騰落率(%)	—	△12.6	19.5	0.8	7.9	1.9
純資産総額 (百万円)	8,551	6,611	6,318	5,545	5,171	4,660

(注) 分配金再投資基準価額は、2015年11月10日の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

* 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

※当ファンドは、運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマーク及び参考指数は設定しておりません。

⑤投資環境

【債券】

当期の世界の債券市場は、社債の騰落率が国債を上回るなどまちまちの展開となりました。クレジット市場では、ハイ・イールド債券の騰落率が投資適格社債を上回りました。3月はリスク資産の売り圧力が高まりましたが、4月以降、新型コロナウイルス感染拡大により落ち込んだ経済の立て直しに向け、各国が大規模な景気刺激策を講じたことから、投資家心理が改善し、信用スプレッドは縮小しました。また新型コロナウイルスのワクチン開発の進展や経済指標の改善が見られた他、金融緩和による流動性の高まりが市場を下支えしました。一方で、世界的に感染者数の増加傾向が続いていることや米大統領選挙を巡る不透明感、米中間の緊張の高まり、英国の欧州連合（EU）との新しい関係を巡る交渉に対する不透明感などが投資家心理の重石となりました。こうした中、米国債券市場では、期初、経済活動再開の動きを受けて長期金利が一時急上昇する場面もありましたが、こうした動きは限定的でした。その後、8月に米連邦準備制度理事会（FRB）が一定期間2%を超えるインフレ率を容認するフォワードガイダンスを示したことで、再び長期金利は上昇に転じました。また、米大統領選挙で民主党の勝利が確実になると、財政支出拡大や新型コロナウイルスのワクチンを巡る期待により、米10年債利回りは11月初めに8ヵ月ぶりの高い水準となりました。日本の債券市場は、国債の発行が増える中、日銀が超長期ゾーンの買い入れ増加に慎重姿勢であることから、超長期債利回りが上昇しました。その他、新興国市場は、投資家心理の改善に伴い、上昇して期を終えました。

【株式】

当期の世界の株式市場は上昇し、MSCIワールド・インデックスの騰落率はプラスとなりました。各国で経済対策が打ち出され、行動制限が徐々に緩和される中、経済活動再開の動きや新型コロナウイルスの治療薬やワクチン開発を巡り、楽観的な見方が広がりました。また、市場予想を上回る業績発表が見られたことも投資家心理の改善につながりました。一方で、新型コロナウイルス感染再拡大への懸念など世界を取り巻く不確実性により、株式市場は不安定な展開となりました。このような状況下、主要株式市場はいずれも上昇し、米国、欧州（除く英国）、日本が他の先進国を上回りました。また、新興国市場は先進国市場を上回る上昇となりました。業種別では、一般消費財・サービス、資本財・サービス、素材、情報技術などが最も上昇した一方、エネルギーは低迷しました。

【不動産投資信託（リート）】

当期の世界のリート市場は上昇しました。セクター別では、産業施設が上昇した一方、ホテルやオフィスは出遅れました。国・地域別に見ると、米国では失業率が新型コロナウイルス感染拡大により一時、戦後最悪の水準に陥ったものの、住宅ローン金利が歴史的な低水準となっていることが市場を下支えしました。ユーロ圏では、ドイツが低金利に加え、継続的な需要増により堅調に推移しました。アジアでは、シンガポールが需要の底堅さや金融政策などの支援策を背景に上昇しました。日本では一部の大手不動産開発業者の好調な業績が市場をけん引しました。一方、香港は7-9月期の域内総生産（GDP）成長率が予想を下回ったことなどから低迷しました。

⑥ポートフォリオ

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、世界（日本を含む）の債券、株式、不動産投資信託（リート）に分散投資を行い、主に配当等収入を確保することを目的とした運用を行うとともに、長期的な投資信託財産の成長を目指しております。

マザーファンドの組み入れは、「債券重視型」について債券70%、株式15%、リート15%、「株式重視型」について債券35%、株式50%、リート15%の基本配分比率に基づき、各資産の利回り水準、流動性、リスク・リターン特性などを考慮して、配当等収入の確保とリスクの分散を目指して決定しております。当期につきましても、原則として、この比率を目標とした運用を行いました。

⑦ベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマーク及び参考指数は設定しておりません。

⑧分配金

(債券重視型)

当作成期の1万口当たり分配金(税引前)は、分配方針に基づき下記表中の分配額とさせていただきます。また、収益分配に充てなかった利益につきましては投資信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

●分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項目	第86期	第87期	第88期
	2020年5月12日～2020年7月10日	2020年7月11日～2020年9月10日	2020年9月11日～2020年11月10日
当期分配金	30	30	30
(対基準価額比率)	0.33%	0.32%	0.32%
当期の収益	30	29	18
当期の収益以外	—	0	11
翌期繰越分配対象額	161	161	150

(株式重視型)

当作成期の1万口当たり分配金(税引前)は、分配方針に基づき下記表中の分配額とさせていただきます。また、収益分配に充てなかった利益につきましては投資信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

●分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項目	第86期	第87期	第88期
	2020年5月12日～2020年7月10日	2020年7月11日～2020年9月10日	2020年9月11日～2020年11月10日
当期分配金	35	35	35
(対基準価額比率)	0.39%	0.38%	0.38%
当期の収益	35	35	35
当期の収益以外	—	—	—
翌期繰越分配対象額	324	327	329

- * 「当期の収益」および「当期の収益以外」は円未満切捨てのため、合計額が「当期分配金」と一致しない場合があります。
- * 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
- * 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」が当該決算期末日時点の基準価額を上回ることがありますが、実際には基準価額を超えて分配金が支払われることはありません。

2. 今後の運用方針

当ファンドは、中長期的な観点から見たリスクの分散と配当等を含む収益の獲得に着目し、複数の資産に投資を行っています。今後も、投資信託証券への投資を通じ、基本資産配分比率から大きく乖離しない形で、3つの資産へ分散投資を行ってまいります。また、各投資信託証券におきましては、引き続きグローバルに展開する社内の調査ネットワークを活用した銘柄選択を行ってまいります。

3. お知らせ

該当事項はありません。

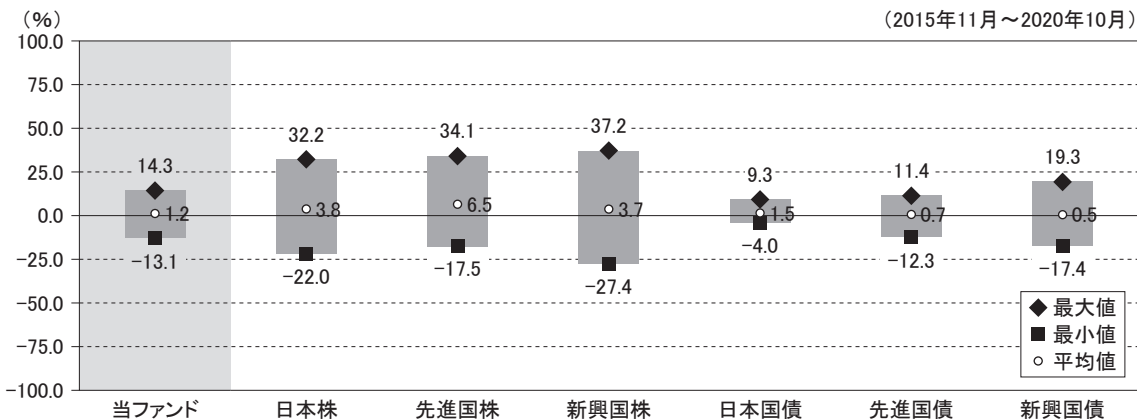
4. 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	原則無期限です。	
運用方針	主として、フィデリティ・ワールド債券・マザーファンド、フィデリティ・ワールド株式・マザーファンド、フィデリティ・グローバル・リート・マザーファンドの各受益証券への投資を通じて、世界の債券、株式、不動産投資信託(リート)へ実質的に分散投資を行い、主として配当等収入を確保することを目的に運用を行い、長期的な投資信託財産の成長を目指します。	
主要投資対象	当ファンド	主として、フィデリティ・ワールド債券・マザーファンド、フィデリティ・ワールド株式・マザーファンド、フィデリティ・グローバル・リート・マザーファンドの各受益証券に投資します。
	フィデリティ・ワールド債券・マザーファンド	世界の各種債券に投資する投資信託証券を主要な投資対象とします。
	フィデリティ・ワールド株式・マザーファンド	世界の取引所に上場されている株式に投資する投資信託証券を主要な投資対象とします。
	フィデリティ・グローバル・リート・マザーファンド	日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されている不動産投資信託証券(リート)を主要な投資対象とします。
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ●各マザーファンド受益証券への投資を通じて、世界(日本を含みます。)の債券、株式、不動産投資信託(リート)へ実質的に分散投資を行い、主として配当等収入を確保することを目的に運用を行い、長期的な投資信託財産の成長を目指します。 ●フィデリティ・ワールド債券・マザーファンド、フィデリティ・ワールド株式・マザーファンドの運用は、国内外の投資信託証券(投資対象ファンド)への投資を通じて行い、ファンド分散・地域(種別)分散を図ります。 ●基本資産配分に関する運用にあたっては、FILインベストメント・マネジメント(香港)・リミテッドに、運用の指図に関する権限を委託します。 	
分配方針	<p>毎決算時(原則1月、3月、5月、7月、9月および11月の各10日。同日が休業日の場合は翌営業日。)に、原則として以下の収益分配方針に基づき分配を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子・配当等収入と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 ●収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。 ●留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。 	

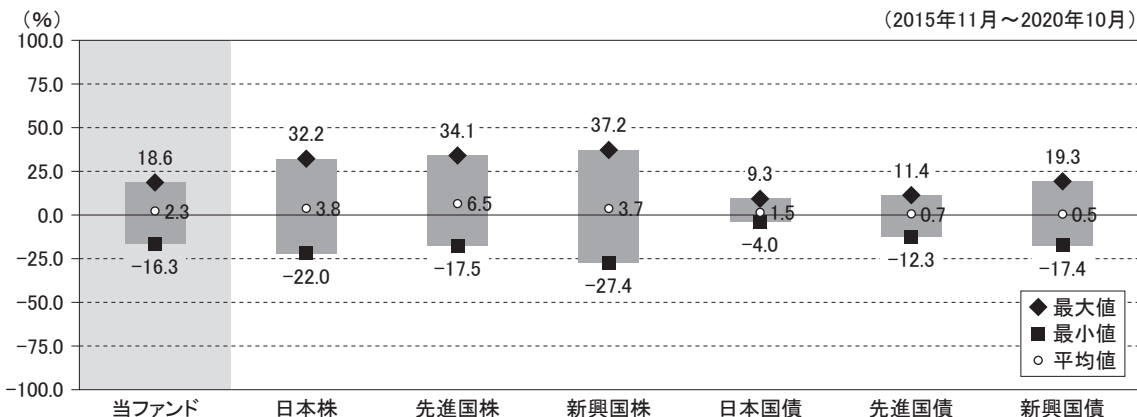
5. 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(債券重視型)



(株式重視型)



(注1) 2015年11月～2020年10月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示し、当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

(注2) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注3) 当ファンドは税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

(注4) 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※各資産クラスの指数

日本株…TOPIX(配当込)

先進国株…MSCI コクサイ・インデックス(税引前配当金込/円ベース)

新興国株…MSCI エマージング・マーケット・インデックス(税引前配当金込/円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI 国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)

* 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、指数提供元にて円換算しています。

* 詳細は後述の「指数に関して」をご参照下さい。

6. 当ファンドのデータ

①組入資産の内容

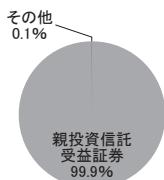
(債券重視型)

組入上位ファンド

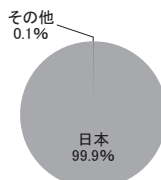
(2020年11月10日現在)

ファンド名	組入比率
フィデリティ・ワールド債券・マザーファンド	69.2%
フィデリティ・ワールド株式・マザーファンド	15.5
フィデリティ・グローバル・リート・マザーファンド	15.1
組入ファンド数	3ファンド

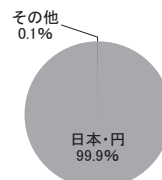
資産別配分



国別配分



通貨別配分



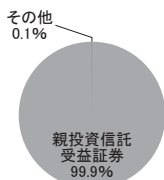
(株式重視型)

組入上位ファンド

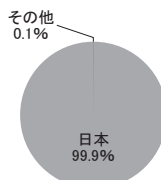
(2020年11月10日現在)

ファンド名	組入比率
フィデリティ・ワールド株式・マザーファンド	51.3%
フィデリティ・ワールド債券・マザーファンド	33.6
フィデリティ・グローバル・リート・マザーファンド	15.1
組入ファンド数	3ファンド

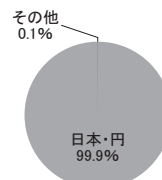
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

(注2) 国別配分は、発行国・地域を表示しています。

(注3) 「その他」には現金を含みます。未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

* 詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

②純資産等

(債券重視型)

項目	第86期末	第87期末	第88期末
	2020年7月10日	2020年9月10日	2020年11月10日
純資産総額	7,258,482,149円	7,335,035,923円	7,127,693,780円
受益権総口数	7,898,342,487口	7,795,125,944口	7,593,036,464口
1万口当たり基準価額	9,190円	9,410円	9,387円

(注) 当作成期中における追加設定元本額は46,616,456円、同解約元本額は419,737,146円です。

(株式重視型)

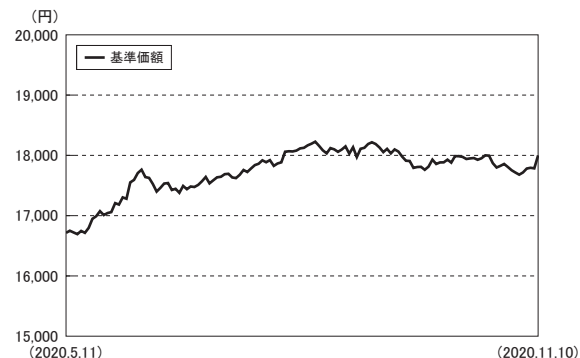
項目	第86期末	第87期末	第88期末
	2020年7月10日	2020年9月10日	2020年11月10日
純資産総額	4,672,309,501円	4,722,192,762円	4,660,220,084円
受益権総口数	5,279,600,423口	5,195,053,212口	5,089,407,746口
1万口当たり基準価額	8,850円	9,090円	9,157円

(注) 当作成期中における追加設定元本額は68,627,020円、同解約元本額は322,381,323円です。

③組入上位ファンドの概要

フィデリティ・ワールド債券・マザーファンド

基準価額の推移



(別途記載がない限り2020年11月10日現在)

組入上位ファンド

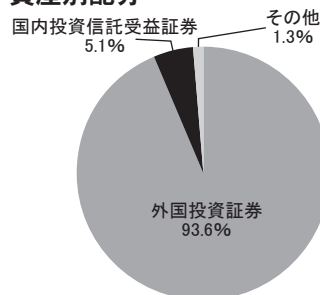
ファンド名	組入比率
フィデリティ・ファンズユーロ・ボンド・ファンド	35.7%
フィデリティ・ファンズUSDドル・ボンド・ファンド	34.9
フィデリティ・ファンズエマージング・マーケット・デット・ファンド	10.0
組入ファンド数	6ファンド

1万口当たりの費用明細

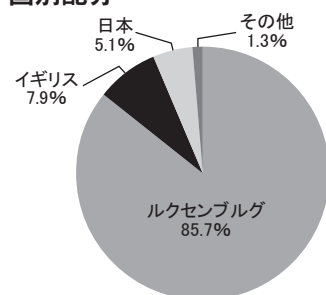
(2020年5月12日～2020年11月10日)

項目	金額
(a) 売買委託手数料	—円
(b) 有価証券取引税	—
(c) その他費用 (保管費用)	0 (0)
合計	0

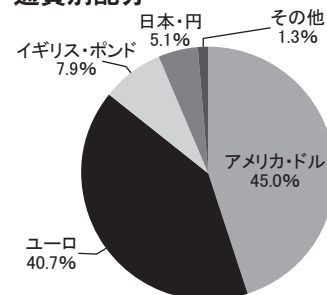
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもので、2ページおよび4ページ(1万口当たりの費用明細)の項目の概要および注記をご参照ください。ただし、各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドは除く)が支払った費用を含みません。

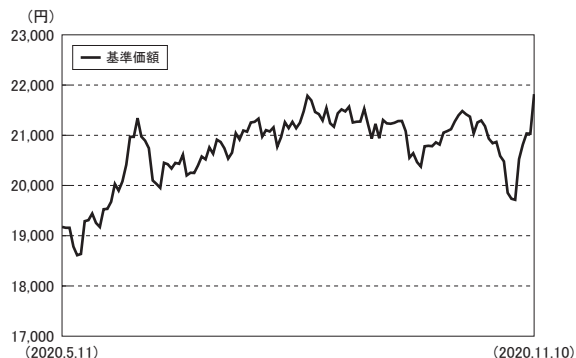
(注2) 各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

(注3) 国別配分は、発行国・地域を表示しています。

(注4) 「その他」には現金を含みます。未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

* 詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

フィデリティ・ワールド株式・マザーファンド 基準価額の推移



(別途記載がない限り2020年11月10日現在)

組入上位ファンド

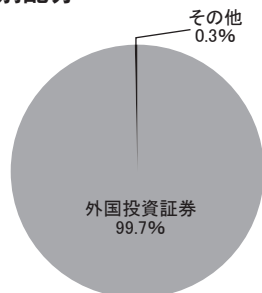
ファンド名	組入比率
フィデリティ・ファンズーグローバル・ディビデンド・ファンド	99.6%
フィデリティ・ファンズーUSドル・キャッシュ・ファンド	0.1
組入ファンド数	2ファンド

1万口当たりの費用明細

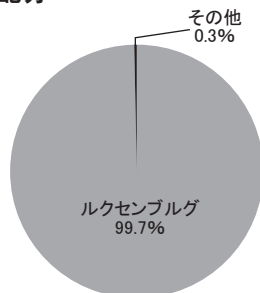
(2020年5月12日～2020年11月10日)

項目	金額
(a) 売買委託手数料	—円
(b) 有価証券取引税	—
(c) その他費用 (保管費用)	0 (0)
合計	0

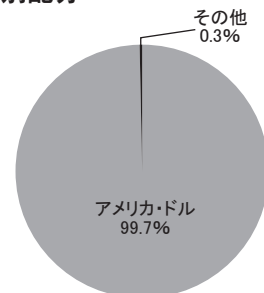
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。2ページおよび4ページ(1万口当たりの費用明細)の項目の概要および注記をご参照ください。ただし、各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドは除く)が支払った費用を含みません。

(注2) 各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

(注3) 国別配分は、発行国・地域を表示しています。

(注4) 「その他」には現金を含みます。未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

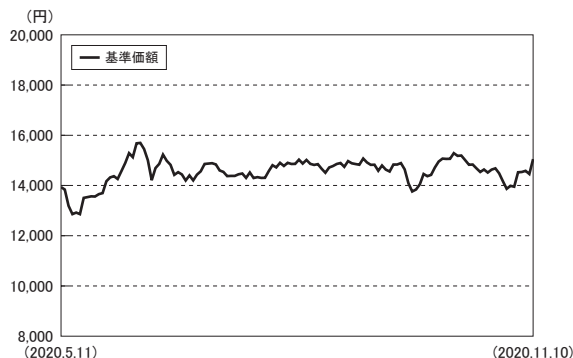
* 詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

フィデリティ・グローバル・リート・マザーファンド 基準価額の推移

(別途記載がない限り2020年11月10日現在)

組入上位10銘柄

	銘柄名	比率
1	プロロジス	9.0%
2	デジタル・リアルティ・トラスト	6.6
3	ヘルスピーク・プロパティーズ	6.3
4	パブリック・ストレージ	6.1
5	アメリカン・ホームズ4レント	5.6
6	エクイティ・ライフスタイル・プロパティーズ	5.5
7	カムデン・プロパティ・トラスト	5.3
8	GLP投資法人	5.3
9	ヘルスケア・リアルティ・トラスト	5.2
10	インビテーション・ホームズ	4.5
組入銘柄数		26銘柄

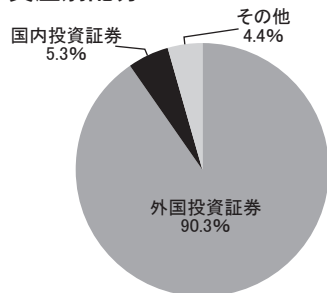


1万口当たりの費用明細

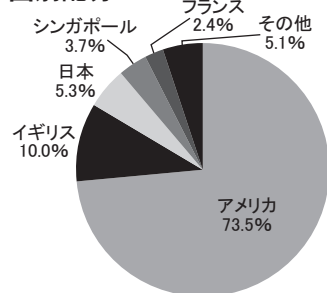
(2020年5月12日～2020年11月10日)

項目	金額
(a) 売買委託手数料 (投資証券)	2円 (2)
(b) 有価証券取引税 (投資証券)	4 (4)
(c) その他費用 (保管費用)	2 (2)
合計	8

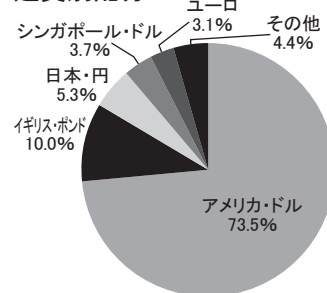
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもので、2ページおよび4ページ(1万口当たりの費用明細)の項目の概要および注記をご参照ください。

(注2) 各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

(注3) 銘柄をご参考のため、英文表記の一部をカタカナで表記しております。実際の発行体名と異なる場合があります。

(注4) 国別配分は、発行国・地域を表示しています。

(注5) 「その他」には現金を含みます。未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

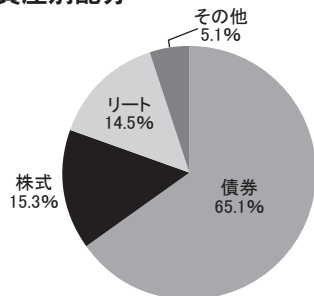
* 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

各マザーファンドが直接投資しているのは投資信託証券ですが、下記はその先の投資資産を表示しております。

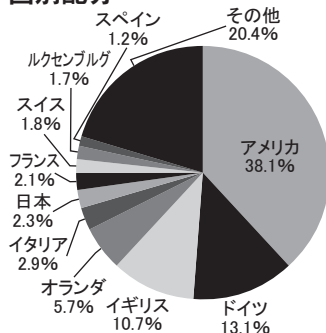
(2020年11月10日現在)

(債券重視型)

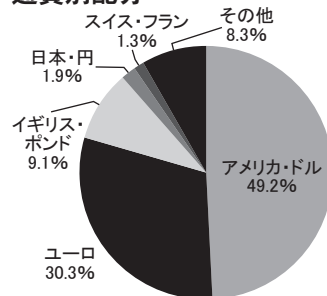
資産別配分



国別配分

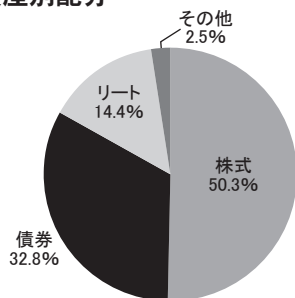


通貨別配分

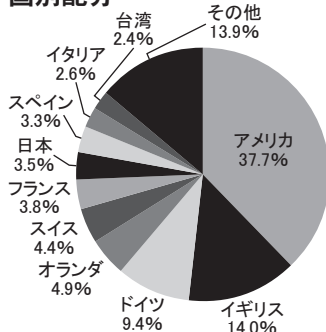


(株式重視型)

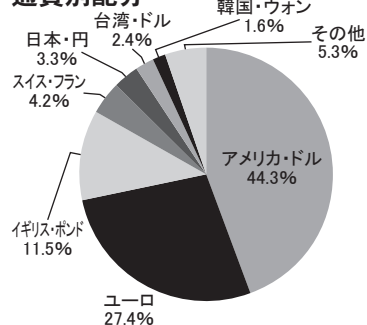
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

(注2) 国別配分は、国・地域を表示しています。

* フィデリティ投信が2020年11月10日時点の、取得可能な投資対象ファンドのデータに基づき作成しています。運用報告書(全体版)に記載されているデータとは異なります。

(参考)

組入上位ファンドにおける直近の決算日時点の組入上位10銘柄

フィデリティ・ワールド債券・マザーファンド

●フィデリティ・ファンズ-ユーロ・ボンド・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)

(2020年4月30日現在)

	銘柄名	国・地域	比率
1	Germany 0.25% 15/02/2029	ドイツ	26.3%
2	Netherlands 0.25% 15/07/2029	オランダ	16.1
3	France Republic -0.375% 25/05/2020	フランス	10.6
4	Germany -0.516% 12/06/2020	ドイツ	3.9
5	Italy 2.45% 01/09/2050	イタリア	3.7
6	Danske Bank 2.50% VRN 21/06/2029 EMTN	デンマーク	1.7
7	Volkswagen Fin. Services 3.375% 06/04/2028 EMTN	ドイツ	1.6
8	Airbus 2.00% 07/04/2028	オランダ	1.5
9	EDP 1.625% 15/04/2027 EMTN	ポルトガル	1.5
10	Nationwide Bldg. Soc. 2.00% VRN 25/07/2029 EMTN	イギリス	1.5

●フィデリティ・ファンズ-USDル・ボンド・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)

(2020年4月30日現在)

	銘柄名	国・地域	比率
1	US Treasury 1.50% 15/02/2030	アメリカ	8.9%
2	US Treasury 2.875% 31/10/2023	アメリカ	5.6
3	US Treasury 0.50% 31/03/2025	アメリカ	5.4
4	US Treasury 2.375% 15/11/2049	アメリカ	5.1
5	US Treasury 2.25% 15/08/2049	アメリカ	3.1
6	US Treasury 3.00% 31/10/2025	アメリカ	3.0
7	US Treasury 1.50% 31/08/2021	アメリカ	2.9
8	US Treasury 1.50% 31/01/2027	アメリカ	2.3
9	US Treasury 1.125% 28/02/2025	アメリカ	1.9
10	Japan Inflation Linked Bond 0.10% 10/03/2029	日本	1.9

●フィデリティ・ファンズ-エマージング・マーケット・デット・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)

(2020年4月30日現在)

	銘柄名	国・地域	比率
1	Comision Federal de Electric 5.00% 30/07/2049 EMTN	メキシコ	2.4%
2	Qatar 4.40% 16/04/2050 Reg S	カタール	2.3
3	Abu Dhabi 3.875% 16/04/2050 Reg S	アラブ首長国連邦	2.0
4	Ukraine 8.994% 01/02/2024 Reg S	ウクライナ	1.8
5	Petroleos Mexicanos 6.50% 13/03/2027	メキシコ	1.8
6	Saudi Arabia 4.50% 22/04/2060 Reg S	サウジアラビア	1.7
7	Ethiopia Int'l Bond 6.625% 11/12/2024 Reg S	エチオピア	1.5
8	Bolivia 4.50% 20/03/2028 Reg S	ボリヴィア	1.4
9	Panama 4.50% 01/04/2056	パナマ	1.4
10	Iraq 5.80% 15/01/2028 Reg S	イラク	1.3

フィデリティ・ワールド株式・マザーファンド

●フィデリティ・ファンズ-グローバル・ディビデンド・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)

(2020年4月30日現在)

	銘柄名	国・地域	業種	比率
1	Deutsche Boerse	ドイツ	金融	4.2%
2	Cisco Systems	アメリカ	情報技術	4.2
3	Unilever	イギリス	生活必需品	4.1
4	Roche Holding	スイス	ヘルスケア	4.0
5	Taiwan Semiconductor Manufacturing	台湾	情報技術	3.9
6	Wolters Kluwer	オランダ	資本財・サービス	3.6
7	Pfizer	アメリカ	ヘルスケア	3.3
8	RELX	イギリス	資本財・サービス	3.2
9	Intel	アメリカ	情報技術	3.2
10	Schneider Electric	フランス	資本財・サービス	3.0

●フィデリティ・ファンズ-USDル・キャッシュ・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)

(2020年4月30日現在)

	銘柄名	国・地域	比率
1	HSBC CP 1.90% 20/05/2020	イギリス	2.7%
2	Dexia Credit VCP 2.140% 09/06/2020	フランス	2.7
3	Toyota Motor Finance CP 1.90% 04/06/2020	オランダ	2.2
4	Bank Nederlandse Gemeenten CP 0.85% 11/06/2020	オランダ	2.2
5	TD Bank VCD 2.166% 06/07/2020	イギリス	2.2
6	Landeskreditbank CP 1.04% 16/06/2020	ドイツ	2.2
7	Standard Chartered Bank CD 0.905% 06/07/2020	イギリス	1.9
8	Santander UK CD 0.708% 13/07/2020	イギリス	1.9
9	Santander UK CD 0.707% 07/07/2020	イギリス	1.9
10	Cred CD 1.72% 05/08/2020	イギリス	1.6

指数に関して

●「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に記載の指数について

日本株	TOPIX(配当込)	東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所(株東京証券取引所)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数(TOPIX)の商標に関するすべての権利は株東京証券取引所が有しています。なお、本商品は、株東京証券取引所により提供、保証又は販売されるものではなく、株東京証券取引所は、本商品の発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス(税引前配当金込/円ベース)	MSCI コクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した、日本を除く先進国の株式市場のパフォーマンス測定を目的とする浮動株調整済み時価総額加重指数です。著作権、およびその他知的所有権はMSCI Inc.に帰属しております。
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス(税引前配当金込/円ベース)	MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した、エマージング諸国の株式市場のパフォーマンス測定を目的とする浮動株調整済み時価総額加重指数です。著作権、およびその他知的所有権はMSCI Inc.に帰属しております。
日本国債	NOMURA-BPI 国債	NOMURA-BPI 国債は、野村證券株式会社が公表する、国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI 国債の知的財産権およびその他一切の権利は野村證券に帰属します。なお、野村證券株式会社はNOMURA-BPI 国債の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、NOMURA-BPI 国債を用いて運用される当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
先進国債	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)	FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシー. が算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。当指数の著作権はジェー・ピー・モルガン・チェース・アンド・カンパニーに帰属しております。指数に関する一切の知的財産権とその他一切の権利はJPMorgan Chase & Co.及び関係会社(「JPモルガン」)に帰属しております。JPモルガンは、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。JPモルガンは、指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドを推奨するものでもなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。